

スーパーマーケット景気動向調査

2016年11月調査結果（10月実績）
（2016年11月22日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

11月調査（10月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断は大きく改善、見通し判断も改善傾向を示す

10月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+5.1の45.4、見通し判断も前月から+2.6の42.3となり、共に改善を見せた

経営動向調査は、売上高DIが0.1（前月比+12.6）とわずかながらプラス、収益DIは-6.8（前月比+4.8）とマイナス幅を縮小するなど、すべてのDIが上昇をみせた。日曜日が一日多い曜日めぐりにより、来客数DIが-6.4（前月比+4.4）とわずかに上昇し、青果相場高などで生鮮仕入原価DIが大きく上昇し、販売価格DI、客単価DIがともにプラスとなったことが売上高の改善につながっている。

カテゴリー動向結果でも、同様の追い風を受け、一般食品を除くカテゴリーではDIが大きく上昇しており、特に青果DIは14.2（前月比+22.1）と二桁のプラスを記録した。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査はすべてのDIが前月に比べ、改善をみせた。特に現状判断DIの改善幅が大きくなっている。今回の改善が、2015年の秋以降続く弱含みな傾向からの反転につながるかどうかは、この先の動向を確認する必要がある。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

難しい外部環境も重なり2ヵ月連続で悪化していた動向から一転して、曜日と相場の追い風を受け10月は全ての面で大きく改善をみせた。以前から指摘している見通し判断にもわずかながら回復傾向がみられているのは明るい材料といえる。一過性か、底打ちの兆候かを見極めるためにも、次月以降の動向を注視する必要がある。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：45.4 (+5.1) 前月：40.3	消費者購買意欲DI 当月：45.9 (+4.2) 前月：41.7	周辺地域 競合状況DI 当月：42.4 (±0) 前月：42.4	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：46.2 (+2.8) 前月：43.4
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：42.3 (+2.6) 前月：39.7	消費者購買意欲DI 当月：44.1 (+2.8) 前月：41.3	周辺地域 競合状況DI 当月：40.9 (+0.9) 前月：40.0	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：44.8 (+1.4) 前月：43.4
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：0.1 (+12.6) 前月：-12.5	客単価DI 当月：5.2 (+10.3) 前月：-5.1	来客数DI 当月：-6.4 (+4.4) 前月：-10.8	
収益DI 当月：-6.8 (+4.8) 前月：-11.6	販売価格DI 当月：6.2 (+6.7) 前月：-0.5	生鮮品仕入原価DI 当月：18.4 (+9.7) 前月：8.7	食品仕入原価DI 当月：3.1 (+0.9) 前月：2.2

カテゴリー動向

青果DI 当月：14.2 (+22.1) 前月：-7.9	水産DI 当月：-8.8 (+4.5) 前月：-13.3	畜産DI 当月：-5.9 (+5.0) 前月：-10.9	
惣菜DI 当月：7.2 (+6.7) 前月：0.5	日配DI 当月：1.6 (+5.3) 前月：-3.7	一般食品DI 当月：-4.4 (-1.6) 前月：-2.8	非食品DI 当月：-4.4 (+7.5) 前月：-11.9

○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

11月調査（10月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

2015年3月以来の二桁のマイナスを記録後、当月はプラス圏に上昇

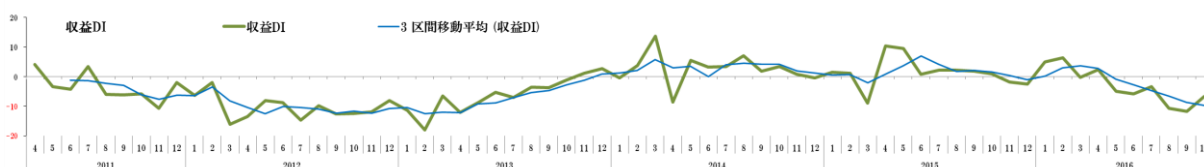
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	12.6	42.2	30.1	12.6	2.4	-12.5
売上高 (当月)	5.7	26.9	31.6	32.6	3.1	0.1



2. 収益DI

2013年4月以来の二桁マイナスを記録後、当月はやや上昇

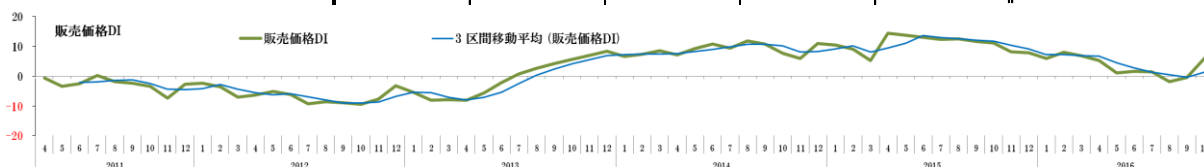
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	12.9	37.3	35.3	11.9	2.5	-11.6
収益 (当月)	10.2	29.9	38.0	20.9	1.1	-6.8



3. 販売価格DI

2013年6月以来のマイナスを記録後、当月はプラス圏まで上昇

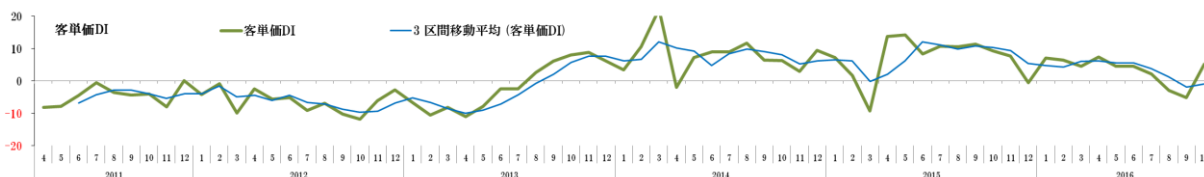
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.5	19.1	62.7	17.2	0.5	-0.5
販売価格 (当月)	0.0	11.1	54.2	33.7	1.1	6.2



4. 客単価DI

2015年12月以来のマイナスを記録後、当月はプラス圏まで上昇

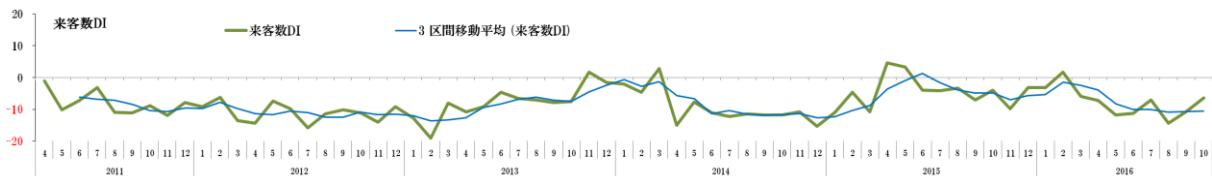
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	2.0	31.2	52.7	13.7	0.5	-5.1
客単価 (当月)	0.0	17.3	45.0	37.2	0.5	5.2



5. 来客数 DI

マイナス圏での低迷が続いているが、当月はやや上昇

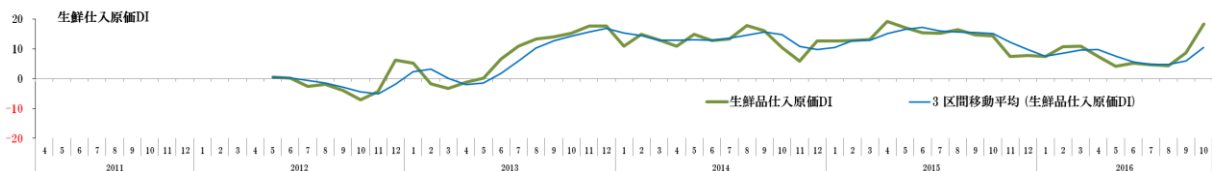
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	7.8	42.2	35.9	13.6	0.5	-10.8
来客数 (当月)	4.2	38.5	35.9	21.4	0.0	-6.4



6. 生鮮仕入原価 DI

当月二桁のプラス大きく上昇

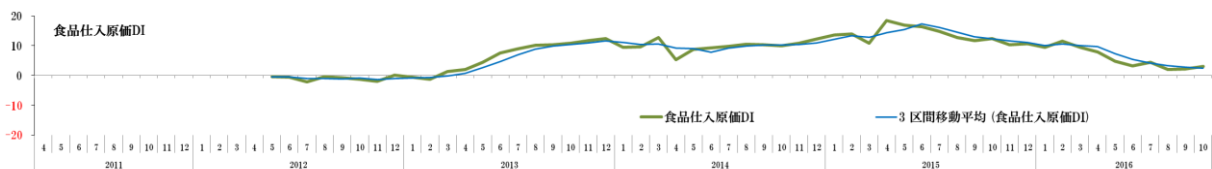
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.0	10.9	45.8	36.8	5.5	8.7
生鮮仕入原価 (当月)	1.1	3.8	30.1	50.5	14.5	18.4



7. 食品仕入原価 DI

引き続きプラス圏を維持、横ばいで推移が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.5	6.5	76.6	12.4	3.0	2.2
食品仕入原価 (当月)	2.7	5.3	70.1	20.9	1.1	3.1

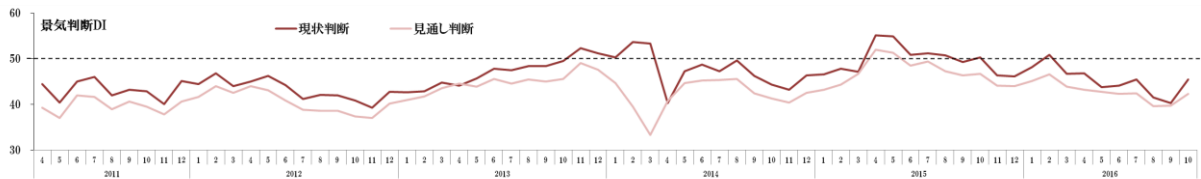


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は大きく改善、見通し判断も小幅に改善をみせる

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	3.4	35.4	58.3	2.4	0.5	40.3
【現状】景気判断 (当月)	1.5	22.2	69.6	6.7	0.0	45.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	3.9	35.9	57.8	2.4	0.0	39.7
【見通し】景気判断 (当月)	2.6	28.6	65.6	3.1	0.0	42.3



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は大きく改善、見通し判断も小幅に改善をみせる

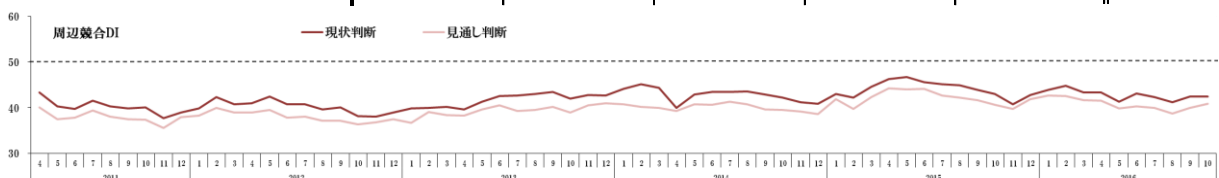
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.5	35.4	60.7	3.4	0.0	41.7
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	24.1	68.2	7.7	0.0	45.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.5	35.1	62.9	1.5	0.0	41.3
【見通し】購買意欲 (当月)	0.0	26.8	70.1	3.1	0.0	44.1



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に大きな変化は見られず

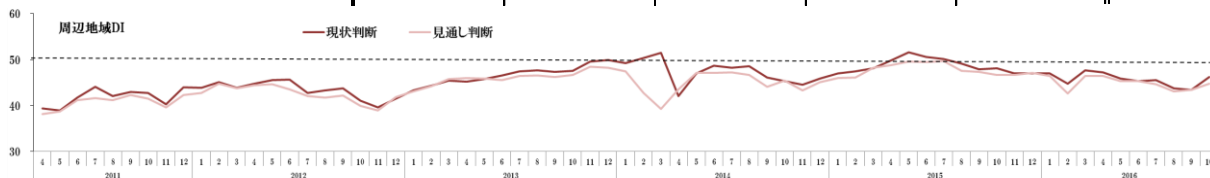
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.4	26.7	69.9	1.0	0.0	42.4
【現状】競合状況 (当月)	2.6	26.2	70.3	1.0	0.0	42.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	7.3	25.7	66.5	0.5	0.0	40.0
【見通し】競合状況 (当月)	5.7	26.3	67.0	1.0	0.0	40.9



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断は大きく改善、見通し判断も小幅に改善をみせる

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	1.0	25.4	72.7	1.0	0.0	43.4
【現状】地域景気 (当月)	0.5	17.1	79.3	3.1	0.0	46.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	0.5	25.5	74.0	0.0	0.0	43.4
【見通し】地域景気 (当月)	1.0	19.7	78.2	1.0	0.0	44.8

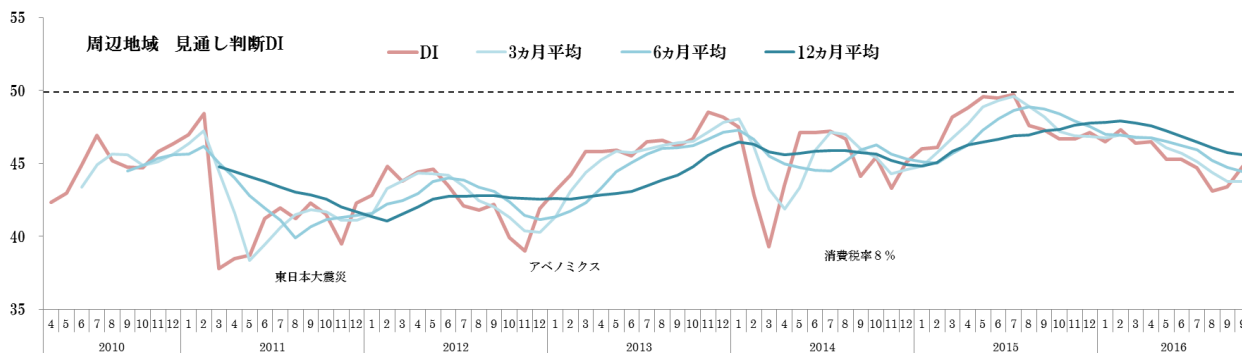
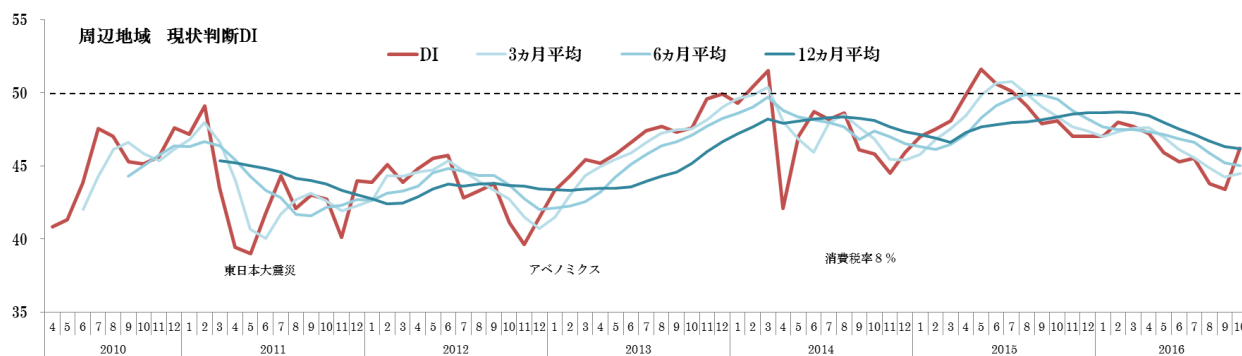


長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降改善傾向を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した。5月に一旦持ち直したものの、6月～8月まで横ばい推移、9月に再び悪化した。その後、年末から6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで改善をみせた。

その後、6月以降悪化傾向が続き11月は下落の速度が早まった。12月以降は横ばいでの推移、2016年3月に再び悪化をみせた。その後、再び横ばいでの推移となっていたが、8月には大きく下落した。直近9月に下げ止まりをみせ、10月は一転して大きく改善を示している。

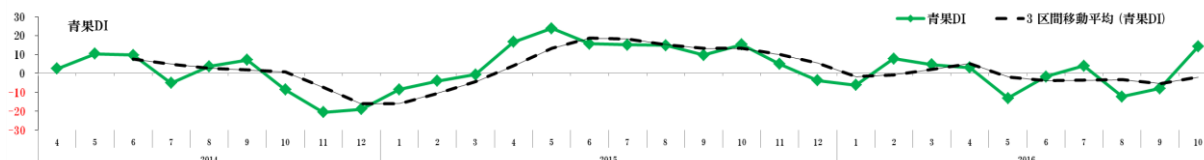
2016年4月に13ヵ月ぶり「12ヵ月移動平均」がマイナスを記録しており、他期間の移動平均線も同様にマイナスでの推移を続けている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：14.2（好調）

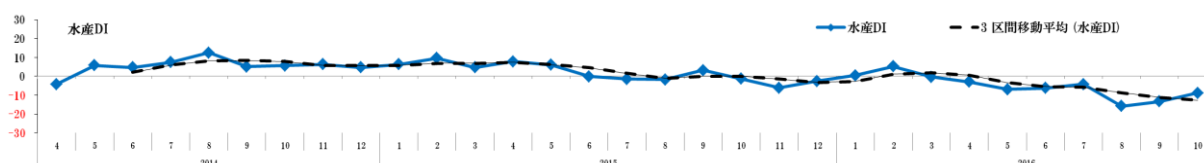
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果 (前月)	9.7	38.5	30.8	15.9	5.1	-7.9
青果 (当月)	3.3	14.8	24.6	36.6	20.8	14.2



台風被害などで薬物根菜類が相場高となり買い上げ数量減となっているものの、一品単価の上昇により総じて売上は好調となった。相場高の影響を受け、小分けや少量販売、カット野菜が好調となっている。サラダ商材は相場高にも関わらず、数量増となっている店舗もみられる。果物でも相場高でも好調とするコメントが多いが、輸入果実は好調、ぶどうやみかんやりんごは好不調分かれる結果となっている。

2. 水産DI：-8.8（やや不調）

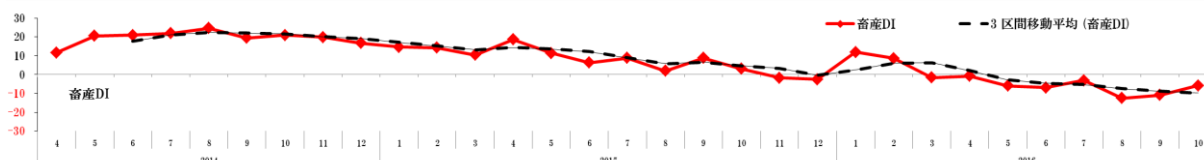
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産 (前月)	12.8	43.1	30.8	11.3	2.1	-13.3
水産 (当月)	8.7	38.0	34.2	17.9	1.1	-8.8



サンマの不漁と小型化、魚種の不足により売上不振となりカテゴリー全体でもやや不調となった。特に上旬は、平年より高い気温によりまぐろ、サーモン、かつおなどの刺身類の動きがよい反面、おでん・鍋物商材の動きが悪かった。秋鮭も相場が高く苦戦、気温が高かったことでうなぎが好調とのコメントもみられた。

3. 畜産DI：-5.9（やや不調）

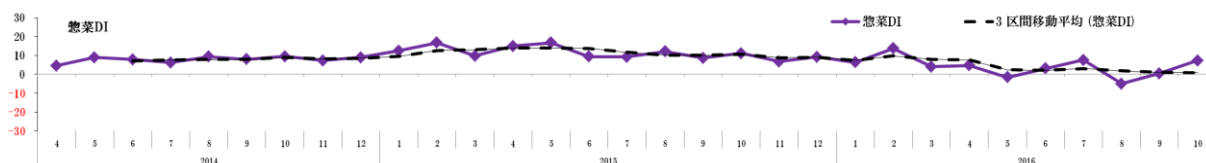
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産 (前月)	13.8	36.4	31.3	16.4	2.1	-10.9
畜産 (当月)	6.0	38.3	31.7	21.3	2.7	-5.9



牛肉は和牛の相場高が続いているため、国産牛や輸入牛の販売に力を入れている店舗が多い。相場の落ち着きいる豚肉や鶏肉では数量確保できた店舗では好調、伸び悩みをみせた店舗では不調となっている。平年より高い気温により、焼肉用商材は好調、すきやきや鍋物商材は不調となっている。加工品は回復傾向とする店舗と引き続き不振とする店舗に判断が分かれている。

4. 惣菜DI：7.2（やや好調）

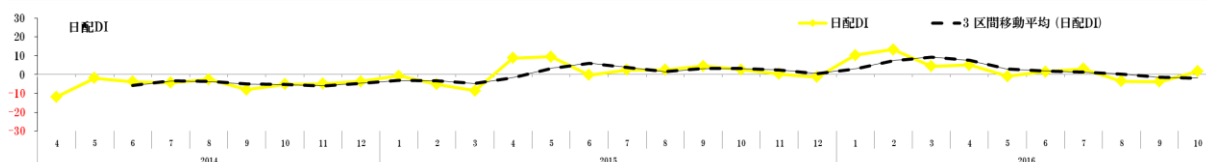
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	6.2	23.3	39.4	24.4	6.7	0.5
惣菜（当月）	3.8	16.4	36.6	33.3	9.8	7.2



青果物相場高の影響で、サラダ関連や和様惣菜、気温の影響で寿司類なども好調となった。旬の食材を使ったメニューや健康志向の提案などの取組みが成果をあげているほか、時間帯別のチャンスロス削減に取り組んでいる店舗が多くみられた。

5. 日配DI：1.6（やや好調）

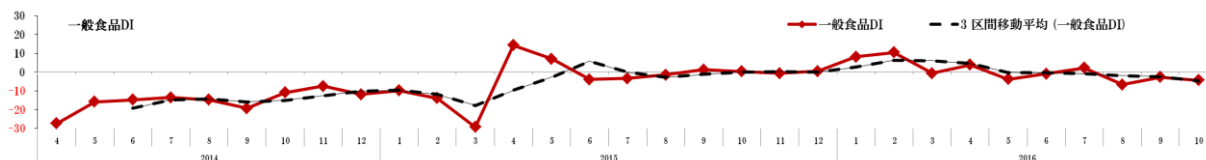
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	6.7	27.7	42.6	20.0	3.1	-3.7
日配（当月）	4.3	18.5	47.3	26.1	3.8	1.6



上旬は、平年より高い気温により夏物・涼味関連商材（アイス・飲料）が好調となる一方で、秋冬商材の練り物やおでん関連が不振となったものの、中旬以降の気温低下により少しずつ動きがよくなった店舗もみられた。野菜の高騰による冷凍野菜や漬物、機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が引き続き好調となっている。

6. 一般食品：-4.4（やや不調）

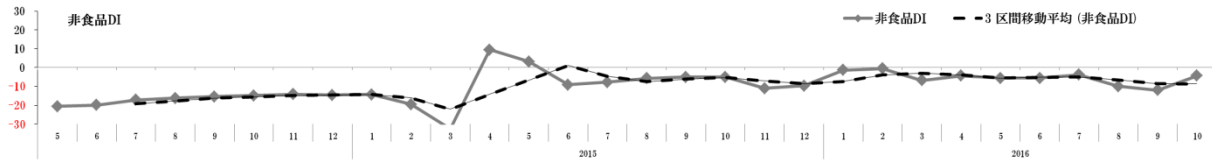
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	5.7	27.8	42.3	20.6	3.6	-2.8
一般食品（当月）	6.6	29.5	41.0	20.8	2.2	-4.4



平年より高い気温により、秋冬商材の動きが悪い一方で、夏物・涼味関連商材（飲料、乾麺やつゆなど）が好調、単価上昇を追い風に新米が好調とする店舗が多くみられた。野菜の高騰により、野菜飲料が好調、菓子類はハロウィン関連で好不調がわかれ、アルコール類は不調とするコメントが多くみられた。価格競争の厳しさが影響しているとの指摘も多い。

7. 非食品 DI：-4.4（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	9.5	40.7	38.6	10.1	1.1	-11.9
非食品（当月）	7.3	27.5	44.9	15.7	4.5	-4.4



中旬以降気温の低下と季節商品の動きがよくなった店舗もみられたが、他業態との競合で引き続き厳しい状況にあり伸び悩みをみせている。衣料洗剤類や紙類などが比較的好調とのコメントがみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調： ～ 20 好調： 20 ～ 10 やや好調： 10 ～ 0
 やや不調： 0 ～ -10 不調： -10 ～ -20 かなり不調： -20 ～

2016年11月調査（10月実績）キーワードTOP3

1. 曜日めぐり（日曜日が一日多い）
2. 天候要因（気温が高い）
3. 青果相場高

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

10月実績速報版 194社
 9月実績確報版 206社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp